allcinema

モホークの太鼓（1939）

DRUMS ALONG THE MOHAWK

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1949/09/20
公開情報 セントラル

【解説】

本邦初演の時はモノクロ公開で、そのためフリッツ・ラングの「西部魂」ともども大いに割を喰ったと言われる、Ｊ・フォード初のカラー作品。Ｂ・グレノンとＲ・レナハンのテクニカラー撮影はそれこそ本作最大の眼目で、フォードにしては演出に締まりのない部分もあるが、眩い色彩に目を奪われているうちに忘れてしまう。独立戦争勃発の１７７６年、ＮＹ州オルバニーで式を挙げ、夫の開拓したモホーク渓谷の農場に下ったギルとラナのマーティン夫妻。妻は初めこそ理想と現実のギャップに悩んでホーム・シックになったが、温かい周囲の人々の援助もあって、懸命に開墾に精を出すうち逞しくなる。当地にも戦争の影響は届き、英軍に雇われたインディアンが度々彼らや近くの集落のジャーマン・フラットを襲った（首謀者コールドウェルをアイパッチのＪ・キャラダインが演じ、不気味に印象的）。ギルたちの家も焼かれ、一旦、二人は夫婦してマクレナー夫人（まさにフォードその人のごとく竹を割ったような気性の好人物をＥ・Ｍ・オリヴァーが快演。本作最良の収穫だ）の農場に雇われる。そして、最初の出征。多くの犠牲者を出しながら勝利を納めたが、彼らの襲撃は止まらなかった。そんな中にも、以前の流産の悲しみを乗り越え男児を出産したラナ。その喜びの時を前にひたすらうろたえるギルの描写がさすがにフォード、実にうまい。やがて、町を挙げての戦いの火蓋が切って落とされた……。ギルが伝令となって援軍が来る辺りの描写は単調だが、戦闘シーンは凄まじい迫力。が、それより、開拓者夫婦の愛情劇としてみるものが多い。

【クレジット】

監督	ジョン・フォード	John Ford	
製作	ダリル・Ｆ・ザナック	Darryl F. Zanuck	
	レイモンド・グリフィス	Raymond Griffith	
原作	ウォルター・Ｄ・エドモンズ	Walter D. Edmonds	
脚本	ラマー・トロッティ	Lamar Trotti	
	ソニア・レヴィン	Sonya Levien	
撮影	バート・グレノン	Bert Glennon	
	レイ・レナハン	Ray Rennahan	
編集	ロバート・Ｌ・シンプソン	Robert L. Simpson	
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman	
出演	クローデット・コルベール	Claudette Colbert	ラナ
	ヘンリー・フォンダ	Henry Fonda	ギルバート・マーティン
	エドナ・メイ・オリヴァー	Edna May Oliver	マックレナー夫人
	エディ・コリンズ	Eddie Collins	クリスチャン・リール
	ジョン・キャラダイン	John Carradine	コールドウェル
	ドリス・ボードン	Dorris Bowdon	メアリー・リール

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ジェシー・ラルフ	Jessie Ralf	ウィーヴァー夫人
アーサー・シールズ	Arthur Shields	ローゼンクランツ牧師
ロバート・ロウリー	Robert Lowery	ジョン・ウィーヴァー
ロジャー・イムホフ	Roger Imhof	ニコラス・ハーキマー将軍
フランシス・フォード	Francis Ford	ジョー・ボレオ
ウォード・ボンド	Ward Bond	アダム・ハートマン
ケイ・リネカー	Kay Linaker	デムース夫人
ラッセル・シンプソン	Russell Simpson	ドクター・ペリー
スペンサー・チャーターズ	Spencer Charters	宿屋の主人

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.